



## 生徒のみなさんへ 湯梨浜中学校のあたり前「そうじ・あいさつ・じかん」に全力を③

### <「時間厳守=信頼」の巻>

湯梨浜中学校の最も大きな課題が「時間を守る」ということです。朝読書開始や2分前着席に間に合わない人、そうじが時間どおりに始められない人、残念ながらまだまだ時間を大切にできていない人が見られます。ただ、昨年遅刻が多かった生徒の中に、今年遅刻がない生徒もいます。授業開始前には、「2分前だよ」と一生懸命に声かけをしている生徒たちもいます。そうやって時間を大切にしようと頑張っている生徒たちがたくさんいることも事実です。今後、湯梨浜中学校の生徒全員が時間の大切さを感じ、しっかりと成長してくれることを願って時間を守ることの大切さについて説明したいと思います。

よく「朝の読書にちょっとくらい遅れても、1分くらいそうじに遅れても、そんなたいした時間でもないし、別に困ることはない」という話を耳にします。確かにその時間自体はそんなに長くはありません。しかし、時間の長さだけが問題ではないのです。「少しくらい遅れても大丈夫、ちょっとくらいなら許してもらえる」という甘い考え方が問題なのです。学校での様々な開始時間、友だちとの待ち合わせ時間、それらをいい加減にしている人はどんどんと時間に対してルーズになっていく傾向があります。人を待たせても平気ですから、人のことも大切にできない人間だと見られます。人との約束の時間が守れないくらいですから、自分で



<時間に余裕を持って登校する生徒たち>



<2分前着席の徹底=授業の充実>

たてた計画はほとんど計画どおりに実施できません。だから、時間が守れない人は社会の中では信用されず、入社試験の時などに1秒でも遅れたら即不採用という会社もたくさんあります。近年では、入試、入社試験のインターネットでの申し込みで数分遅れ、試験すら受けることができなかつたという話も聞いたことがあります。時間を守れない人は人生において決して得をすることはないので、将来の自分の幸せのために、時間の大切さを感じ行動できる人であってください。(裏面に続く)

### 保護者の方へのお願い

湯梨浜中学校では、以前羽合小学校で起こったプール事故を教訓に、毎年事故防止に向けての研修、救命方法の研修を全教職員で行っています。実際にプール指導を行う水泳部顧問、保健体育科教員は、部活中、授業中に一人一人の生徒を注意深く観察しながら指導しています。特に授業に関しては、保健体育の成績に影響するとは言え、命に関わることで、危険行為をする生徒をプールに入れることはできません。状況によっては見学をしていただく可能性もあります。ご家庭でも、お子様に対してご指導をお願いします。

ホームページで日々の学校生活の様子を紹介しています。

<https://www.torikyo.ed.jp/yurihama-j/>



# 協同学習とは？

保護者の皆様には、本校で実施している協同学習について、ぜひ知っておいてもらいたいと思います。教え合い学習や班学習はどここの学校でも行っています。もちろん協同学習においても、教え合い学習や班学習の場面はよくあります。では、協同学習と普通の教え合い学習はどこが違うのでしょうか。それは、その教え合い学習の根底に「**みんなで勉強をわかるようになろう**」「**自分の頑張り**



**り（学び）が仲間の役に立ち、仲間の頑張り（学び）が自分の役に立つという考え方のもと、クラス全員が共通の目標に向かって学習する」という協同学習の精神が**いきているかどうかという違いです。この「**みんなで**」という精神が育っている学級・学年では、様々な活動において、互いを思いやり、協力し合う雰囲気が出ています。そんなクラスは、私立入試の時には学級全員で私立第一志望の生徒のために勉強しやすい雰囲気をつくり、県立一般入試の時にはすでに志望校合格をきめた仲間たちが同じような雰囲気をつくってくれるのです。我々教師は、この協同学習の精神を生徒に何度も何度も話をするとともに、自然と生徒にそんな関係ができるよう授業を工夫しているのです。この精神が本当に定着すると、授業以外においてもクラスの中で困っている人を放っておかない学級ができあがります。それは、生徒全員にとってプラスになることです。保護者の皆様が学生時代に部活動や行事の時などに育てていた協同の精神を、授業においても育成していこうというのが協同学習だと考えてください。ホームページでも適宜先生方の授業を紹介していきますので、ぜひ見てやってください。

（注）ちなみに協同学習の本には、

**「学級のメンバー全員のさらなる成長を追求することが大事なことで、全員が思って学習すること」「生徒たちが自分の学習と互いの学習を最大限に高めようとして一緒に取り組むこと」と書いてあります。**

## 町学校一斉公開のお礼

6月14日（金）、町の学校一斉公開を行ったところ、たくさんの地域の方々、保護者の皆様に参加していただきました。本当にありがとうございます。

## 我が儘は我が敵（わがままはわがてき）

「暑いから授業が面倒くさい」「暑くて体がだるい」「勉強がわからないから授業に出たくない」そんなことを口に出して授業をサボろうとする人がいる。はっきり言ってそんなことを思っている人はあなただけではない。周りの人は思っているでも口に出さないだけである。口に出しても行動に移したりしないのである。こういった行動を一般的にはわがままという。では、わがままを押し通す人生を送ったらどうなるのだろう。

戦国時代、今川義元という武将はすぐ近くの徳川家の力を少しでも弱くさせたかった。そこで、当時人質としてとっていた竹千代（のちの徳川家康）をダメ人間にするため、「むごい教育」を行えと家来に命じた。家来は「むごい教育」として、わがままを許さず、とても厳しく竹千代を育てた。ところがそのことを聞いた義元は、「それはむごい教育ではない。むごい教育とは、わがままをすべて許し樂をさせることで、つらいことにすぐに弱音をはく気力のないダメ人間にすることだ」と言った。わがままをすべて許すことはむごいことのようなのだ。

現在でも「子どもをダメにするのは簡単である。ほしただけお金やものを与えてやり、やりたいことはほとんどやらせ、とにかくわがままを聞いてやればいいのか」という言葉がある。わがままを押し通す人生を送った先には何が待っているのか。多く人間（一部大金持ち、権力のある人は除く）の場合、社会に出ればわがままは通用しない。わがままな人生を送ってきた人間は、そのわがままが通じない社会の中で不満だけがつのるのだそう。不満の多い人生、それは自分より不幸だと感じる人生なのではないだろうか。我が儘は我が敵である！今一度今の自分を見つめよう。